

第73回 卒業証書授与式



短縮、換気を優先し、窓を開放した会場で、卒業生の呼称後、代表生徒に証書授与。式辞、祝辞は文書配付。



また、感染予防のための措置に対して、1、2年生の皆さんは、どのように感じ、何を学び取りましたか。先生方の働きか

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、突然、学校が臨時休業になりました。1、2年生は学年末テスト最終日の次の日から休みになりました。予想もしない状況が突然起こりました。学年の総仕上げの3月の学校生活がなくなっていました。いつもなら、3年生は、公立高校の受験があり、卒業式があります。2月28日に、あわただしく3年生の受験希望者に出願、受験の心得を指導。また、卒業式についても、練習も予定もできない状況で、本番を迎えることの説明がありました。1、2年生については、臨時休業中の心得の確認、休業中の課題の配布などで3年生同様、あわただしく行われました。そして、3月11日には、公立高校一般受験を無事に済ませ、13日金卒業式当日を迎えました。第73回卒業証書授与式は、来賓の参列や代表者1名を除き在校生の参列もなし。会場は、感染予防のため、座席の間隔を大きくとり、参列者数の制限など保護者の皆さまにもご理解、ご協力をいただきました。式は、時間



生徒たちの送辞、答辞を中心に式が挙行されました。練習も、予定もない中で卒業生の式への態度は、3年間の成長ぶりを示してくれました。当たり前のことですが、式に臨む姿勢で、一人として、指導を受けるような生徒もいませんでした。式中も、自分たちの式を思い出深いものにしよという心構えがにじみ出ていました。退場後、教室での最後の学活で証書授与やアルバムなどの配布がありました。その後、保護者、教職員で花道を作り送り出しました。何もかもが、異例づくめの卒業証書授与式でしたが、卒業生の皆さんの成長が立派な式につながりました。

修了式を迎えて

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、2月29日から突然休業になり、そして、学年末を迎えました。3月に入り、分散登校という形で、17日に登校。そして、23日、24日も分散で登校する形です。予想外の事態が続いています。そんな中、皆さんはこの一年を振り返っていると思います。見えないウイルス感染拡大について

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

新型コロナウイルス感染症の拡大

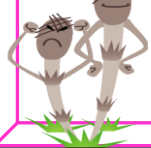
練習も、予定もない中で卒業生の式への態度は、3年間の成長ぶりを示してくれました。当たり前のことですが、式に臨む姿勢で、一人として、指導を受けるような生徒もいませんでした。

住吉第一中
校長室だより いっちょゅう



3月号

R2
3. 24



発行者
中西利彦

日常の基本が大切

今回のような予想もしないような事態になって初めて、日々の生活、基本がしっかりとできていることの大切さ、そして、異例の事態に應用がきくということが分かったのではないだろうか。

また、普通に生活をする。当たり前のように学校に登校する。学校で授業を受ける。部活動をする。放課後の生活を楽しむ。当たり前前の生活が、今回のような異例の事態を経験することで、再確認できたのではないだろうか。非日常になって初めて、日常の大切が理解できるのですね。

今回の経験を無駄にしないようにしましょう。そして、健康な生活が送られることに感謝しましょう。なお、春休み中に、新たな学年に向け準備をしてください。

編集後記

世界的な事態とはいえ、予想外の状況に遭遇していますが、保護者・地域の皆さまの冷静な対応に感謝申し上げます。いつまで続くのか、そして、この後どのような状況になるのか、不明なことが多いとは思いますが、生徒の皆さん含め、みんなで元気よく、前向きに進んでいきましょう。「朝の来ない夜はない」

「校長室だより」は、新任校長として赴任した12年前から作成し、生徒、保護者、地域の皆さまにその時々をお伝えしてきました。つたない文章、見えにくい写真など、十分に校長としての思いが伝わらなかった点があったと思います。このたび、この号を最後に「校長室だより」を閉じる運びとなりました。今まで、ご覧いただきありがとうございました。

